

報 告

- ◎ [「メキシコおよび日本における森林資源の有効的な活用に関するワークショップ」開催](#)
- ◎ [「第6回全国中学生創造ものづくり教育フェア」へ参加](#)

◎ 「メキシコおよび日本における森林資源の有効的な活用に関するワークショップ」開催

1月11日（水）～13日（金）の3日間、メキシコ・ミチョアカン州・モレリアにおいて、「メキシコおよび日本における森林資源の有効的な活用に関するワークショップ」が、ミチョアカン州立大学と森林総合研究所との共催で行われました。会議では、日本、メキシコ両国における林業、木材産業の現状と問題点について相互に報告した後、熱心な討論、意見交換が繰り広げられました。主な出席者はミチョアカン州立大学工学部の教授らと学生らが中心で、森林総合研究所からは2名出席し、3件の発表を行いました。またテクニカルツアーでは、ミチョアカン州モレリア、サン・ファン・ヌエボの教会などの歴史的建築物、および山間地域の木材伐採現場、チップ製造工場、樹液抽出工場、家具工場、製材工場の見学を行いました。今後も同大学と協力関係を維持して交流を続けることを確認し、会議は閉幕しました。



閉会式の挨拶のひとつ

◎ 「第6回全国中学生創造ものづくり教育フェア」へ参加

1月21日（土）～22日（日）、つくば国際会議場において、「第6回全国中学生創造ものづくり教育フェア」が行われました。このイベントは、全日本中学校技術・家庭科研究会、茨城県、つくば市、茨城県教育委員会、つくば市教育委員会が主催し、「ものづくり」の喜び・関心・意欲を高揚させ、参加者や教育関係者だけでなく一般の方にも「ものづくり教育」への理解・啓発を行うことを目的としています。競技会では、全国から地区大会を勝ち抜いた“匠”が集まり、木工・手芸・料理・ロボットコンテストなどの部門で技術を競いました。全国中学生創造ものづくり教育フェアは、次回も茨城県で開催の予定です。

当所からは、会場の展示コーナーに温暖化防止の研究についてのパネル、木橋の模型、木組み、木材標本などを展示しました。



競技会場の様子



当所展示コーナーの様子